新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　令和４年度事業　効果検証結果

No.	事業名	事業概要	主な実績及び実施内容	決算額	交付金充当額	国庫補助額	一般財源	事業実施による効果	担当課
1	にぎわい回復周遊パス支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響で減少した観光客の公共交通の利用と地域経済の衰退の改善を図るため、町内の公共交通を利用する観光客等に対して、町内登録事業者で使用できる商品券を配布し、公共交通の利用促進及び地域経済の好循環に資する。	公共交通を利用した観光客（お茶の京都周遊券利用者）等に対し、町内で利用できる商品券を配布した。 額面　1,000円 配付枚数 1,203枚 利用枚数 1,171枚（回収率97.3%）	1,409,150	1,409,150	0	0	公共交通の利用者や観光客等の増加、町内での消費拡大による地域経済の好循環につながり、地域の活性化において効果的であった。	総務課
2	茶源郷和束生活応援商品券事業	新型コロナウイルス感染症拡大の防止に取り組む住民への感謝と家計支援を目的に、町内で使用できる商品券を配布し、町民及び商工業者を支援する。	町内の事業者で使用できる商品券を住民一人ひとりに確実に郵送するとともに、商工会の協力を得て、たくさんの事業者の参画のもと、コロナ禍で困窮する住民の生活で必要な衣・食・住における支援を行った。 郵便代1,699通 茶源郷和束生活応援商品券 金額：10,000 交付者数：3,639人 発行総額：36,390,000円 換金相当額：35,745,000円（対発行額 98.２％）	38,430,813	38,430,813	0	0	商品券による事業者の売上効果は商工事業者において効果が認められ、長引くコロナ禍における事業者にとって事業者の重要な収入源となるとともに、住民にとっても生活を下支えする効果的な支援策となった。	農村振興課
3	新型コロナウイルス感染症母子対策事業(保育園)	新型コロナウイルス感染症対策として換気を徹底するにあたり、害虫の侵入を防ぎ園児・職員の安全を守るため、保育室・職員室の窓に網戸を設置する。また、乳児クラスの感染予防対策として戸外遊びを充実するための総合遊具を導入するとともに、幼児クラスでは室内遊びにおける密回避を図るため室内用マットを増備する。	保育室・職員室窓に網戸設置　　11枚 戸外総合遊具購入　　1基 抗菌洗える畳（防炎タイプ）幼児クラス3枚×3クラス分	409,500	409,500	0	0	新型コロナ感染拡大防止の為、重要となる窓の開放による換気だが、保育園であることから害虫の侵入予防にも同じく注意が必要な為、網戸の設置は感染予防の換気から大変有効であった。又園児同士の密の回避をしながらの活動に保育士は神経を使い負担となっていたが、遊具の購入により戸外遊びの活動を充実させて、マットの購入により室内遊びにおいても遊びの集団を分散させ密の回避に努めながら業務に当たれた	和束保育園
4	新型コロナウイルス感染症予防総合対策事業	コロナ禍において、住民が各種申請・届出や福祉サービス等のため来庁する際や、各地区の集会場等の利用する際の感染防止を徹底するため、手指消毒液や飛沫防止パーテーション等を整備する。	庁舎等における感染症拡大防止対策を徹底するための物品を調達した。 消毒液15個、換気用サーキュレーター17台、延長コード2本	305,188	305,188	0	0	住民が多く集う庁舎等において消毒液を配備するとともに換気用サーキュレーターを設置することで徹底した感染症拡大防止策を講じることができた。	和束保育園
5	いきいきこども館児童感染防止対策強事業	新型コロナウイルス感染症対策として児童の入館前に行っている検温や健康チェックを安全に実施するため、風等により急に閉鎖する危険な扉の取り替え工事を行う。	安全に検温や健康チェックができるよう児童用玄関の老朽化した両開き扉の取替えを実施した。 引き戸タイプの自動ドア設置　１基	811,107	811,107	0	0	玄関先での検温や健康チェックにおいて、来館者同士が交わらず、距離を保てる環境が整備ができ、来館者の感染防止に寄与した。	人権啓発課
6	子育て世帯生活支援特別給付金事業	長期にわたるコロナ禍の影響により家庭の収入が減少する中、子どもの学費が免除されず経済面で困窮する子育て世帯（高校生や大学生等がいる世帯）を支援するため、対象児童1人につき50千円の給付金を支給する。	給付金支給額 ◎大学生　学校教育法に規定する大学（大学院は除く。）、短期大学、高等専門学校（第４、５学年、専攻科）、専修学校（専門学校）に在学している者 ◎平成16年4月2日から令和5年4月1日までの間に出生した者 350人×50,000円	17,661,660	17,657,590	0	4,070	コロナ禍にあって収入が減少した学生がいる世帯(高校生以上)へ給付することにより、退学などすることなく就学の継続に寄与した。	福祉課
7	簡易水道基本料金軽減	コロナ禍に加え原油・物価高騰により生活が困窮している住民の生活支援・経済負担の軽減のため、水道料金の基本料金（9カ月）を軽減する。	住民の生活支援・経済負担の軽減のため、官公庁施設等を除いた一般家庭世帯に対し、水道料金の基本料金を9ヶ月分免除した。 水道基本料金免除総額　32,102,400円 総件数　14,538件 水道基本料金免除対応に係る委託料　462,000円	32,564,400	32,564,400	0	0	経済的な負担等を抱える一般家庭世帯の支援に寄与することができた。	建設事業課
8	診療所自動水洗化による感染防止対策事業	診察室やトイレ等、手動のカランを自動水栓化することにより患者はもとより医療スタッフの非接触による手洗いを可能にし、新型コロナウイルス感染症の予防を徹底する。	後付け型自動水栓を診療所内７箇所に設置 （診察室・トイレ３箇所・心電図室・薬局・事務室）	185,000	185,000	0	0	手動のカランを自動水栓にしたことで、患者、医療スタッフも蛇口に直接接触することなく新型コロナウイルス感染の予防につながった。クラスターもなく医療スタッフの感染も防げた。	国保診療所
9	茶業肥料高騰対策支援給付金事業	コロナ禍において、原油価格や肥料を主とする物価高騰の影響により、厳しい農業経営に直面している農家を応援するため、支援金を給付する。	補助金：事業者支援金 400円/a×42,301a 対象者数：171名	16,920,400	16,920,400	0	0	コロナ禍の影響を受けて経営に大きな影響を受けている事業者が事業を継承していく上での支えとして寄与した。	農村振興課
10	インフルエンザ予防接種無償化事業	新型コロナウイルス感染症と共に感染拡大が懸念されるインフルエンザの予防接種の促進を図ることで、重篤化すると生命の危険がある小児・高齢者の感染を防止する。	インフルエンザワクチン接種助成費（高齢者） 対象者：1,129人×1,500円 インフルエンザワクチン接種助成費（子ども） 助成額：全額(受診した医療機関により異なる) 対象者：76人	2,317,826	2,317,826	0	0	型コロナウイルス感染症とインフルエンザとの同時流行に備え、ためらうことなく接種できる環境にすることで、感染症の蔓えん防止に寄与することができた。	福祉課
11	いきいきこども館教育集会所感染防止対策強化事業	いきいきこども館教育集会所のアコーディオンカーテンを修繕し、児童の学習時に学年ごとに部屋を分けることで、児童間の新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ。	研修室を分割して使用できるよう老朽化したアコーディオンカーテンの取替を行った。 アコーディオンカーテン取替　2枚	181,470	181,470	0	0	学習時に部屋を分割することができるようになり、館内での感染予防につなげることができた。 児童等利用者が安心して施設を利用できる環境を整えることができた。	人権啓発課

No.	事業名	事業概要	主な実績及び実施内容	決算額	交付金充当額	国庫補助額	一般財源	事業実施による効果	担当課
12	新生児応援特別給付金事業	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、新しい生活様式に取り組みながら新生児を育てる子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもの健やかな成長を応援するため、特別給付金を支給する。	新生児応援特別給付金 給付金額：100,000円 対象者数：6人	600,000	600,000	0	0	新生児の出生により、経済的な負担や精神的な不安を抱える子育て世帯の支援に寄与することができた。	福祉課
13	価格高騰支援商品券事業	ガソリンや生活必需品の価格の高騰が地域の消費に与える影響を緩和するとともに、コロナ禍で経済が安定しない中での住民の生活支援・経済負担の軽減及び地域における消費を喚起・下支えする。	町内の事業者で使用できる商品券を住民一人ひとりに確実に郵送するとともに、商工会の協力を得て、たくさんの事業者の参画のもと、コロナ禍で困窮する住民の生活で必要な衣・食・住における支援を行った。 郵便代1,687通 価格高騰支援商品券 金額：5,000 交付者数：3,603人 発行総額：18,015,000円 換金相当額：17,616,000円（対発行額 97.7%）	19,724,089	19,724,089	0	0	商品券による事業者の売上効果は商工事業者において効果が認められ、長引くコロナ禍における事業者にとって事業者の重要な収入源となるとともに、住民にとっても生活を下支えする効果的な支援策となった。	農村振興課
14	訪日外国人周遊促進事業費補助金	ガソリンや生活必需品の価格の高騰が地域の消費に与える影響を緩和するとともに、コロナ禍で経済が安定しない中での住民の生活支援・経済負担の軽減及び地域における消費を喚起・下支えする。	①茶源郷和束オンライン「おもてなし茶会」：海外・国内向け参加者を募集、参加者に茶器・茶葉・茶菓子を発送しお茶淹れ体験を実施。 ②茶源郷和束オンライン体験ツアー：和束町の観光コンテンツを体験する動画を作成し、おもてなし茶会で参加者に体験していただいた。 ③茶源郷和束茶畑360°動画体験：和束町の茶畑景観360°動画を作成。おもてなし茶会で体験していただいた。 ④オンライン「マルシェ」：越境ECによる和束茶の海外サイトを立ち上げ、6商品をPR。 ⑤「茶源郷和束オリジナルお茶料理を食す」食事提供：和束町内7店舗にてお茶料理をメニュー化。店舗・料理紹介のパンフレットを作成した。	7,000,000	800,000	6,000,000	200,000	オンライン「おもてなし茶会」を実施し、海外60名、国内4名、合計64名がオンライン茶会に参加された。 参加された方にアンケートを実施した結果、22名より回答があり、大変満足86.4%、満足13.6%で満足度100%であった。 オンラインに参加された方で、後日和束茶を購入したいとの依頼があり、和束茶や和束町のファンを獲得できた。 新型コロナウイルス感染症により新しい生活様式が定着ししつつあった中、「新しいツーリズム」の形態を効果的に活用できた。 和束茶の直売所で初めて越境ECサイトによる和束茶6商品を海外へPRできた。 海外へ向けて販売する手法が学べたとともに、今回のおもてなし茶会を始めとする事業実施により基幹産業である和束茶の消費を喚起・下支えすることができた。 茶畑360°動画については、事業終了後も町ホームページで閲覧でき、継続して訪日外国人周遊観光に向けたPRに繋がっている。	地域力推進課
15	学校保健特別対応事業費補助金	新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が急増する中、各学校において夏季休業明けの学校再開も見据えつつ、一層徹底した感染防止対策を行い、子ども達が安心・安全に学べる環境を作る。	子ども達が安心・安全に学べる環境を作るため、感染症対策、学習保障として、和束小学校及び和束中学校において感染症対策用備品の整備等を行った。 消耗品費（マスク、使い捨て手袋、手指用せっけん、消毒液、アルコールタオル） 臨海学習に係る貸切バス賃借 送風機	304,496	145,000	145,000	14,496	臨海学習係る貸切バスの賃借や、感染症対策物品・備品の整備により、小中学校における感染症予防環境が整備され、感染症拡大が防止できた。	相楽東部広域連合教育委員会